

■ はじめに

キヤノンマーケティングジャパン製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。
このリリースノートには、ESET Security Management Center V7.0（以降、本製品と記載します）を正しくご利用頂くための情報が記載されています。
本製品をインストールする前に必ずお読みください。

■ 本製品のコンポーネントについて

本製品を利用頂くためには、以下のコンポーネントをインストールする必要があります

- ・ ESET Security Management Center Server（以降、ESMC サーバー）
- ・ ESET Security Management Center Web Console（以降、ESMC Web コンソール）
- ・ ESET Management Agent（以下、EM エージェント）

次のサポートコンポーネントは必要に応じてインストールしてください。

- ・ Rogue Detection Sensor（以降、RD Sensor）
- ・ Mobile Device Connector（以降、MDC）

■ 本製品で利用可能なデータベースについて

本製品は、以下のデータベースをサポートしています。

- ・ Microsoft SQL Server 2008 R2
- ・ Microsoft SQL Server 2012
- ・ Microsoft SQL Server 2014
- ・ Microsoft SQL Server 2016
- ・ MySQL 5.5
- ・ MySQL 5.6
- ・ MySQL 5.7

- 本製品の ESMC Web コンソールで利用可能なブラウザについて
本製品の ESMC Web コンソールは以下のブラウザをサポートしています。

- ・ Microsoft Edge 41.16299.15.0 以降のバージョン
- ・ Microsoft SQL Server 2008 R2
- ・ Mozilla Firefox 57.0.2 以降のバージョン
- ・ Google Chrome 63.0.3239.132 以降のバージョン
- ・ Safari 11.0.2 以降のバージョン
- ・ Opera 51.0.2830.40 以降のバージョン

- インストール前の注意事項

本製品をインストールする前に、以下の内容を確認してください。

- ・ 本製品のオールインワンインストーラーを保存したフォルダーのパスに日本語が含まれている場合、インストールができません。パスに日本語が含まれないフォルダーに保存して実行してください。
- ・ 本製品は、日本語を含むユーザー名のユーザーでインストールすることはできません
- ・ 本製品は V5 以前の ESET Remote Administrator と互換性がないため、V5 以前の ESET Remote Administrator からの上書きインストールには対応していません。
- ・ ESET Remote Administrator V6.2 から本製品に直接アップグレードすることはできません。一度、ESET Remote Administrator V6.5 にアップグレードしてから、本製品にアップグレードしてください。
- ・ MDC をインストールしていない場合、ESET Remote Administrator V6.3 から本製品に直接アップグレードすることができます。MDC をインストールしている場合は一度すべてのコンポーネントを ESET Remote Administrator V6.5 にアップグレードしてから、本製品へのアップグレードを行なってください。
- ・ ESET Remote Administrator V6.5 からは、本製品に直接アップグレードすることができます。

- ・ 本製品の各コンポーネントをインストールするサーバーに、それぞれ以下のプログラムがインストールされている必要があります。

□ ESMC サーバー (Windows 版)

- Java 8
 - Microsoft .NET Framework 3.5※および 4 以上
 - 本製品で利用可能なデータベース
- ※サーバーマネージャーの機能の追加よりインストールしてください。

□ ESMC サーバー (Linux 版)

- openssl 1.0.1e-30 以上
 - mysql-connector-odbc 5.3.10※
 - qtwebkit 2.0.X または 2.3.4 以上
 - xorg-x11-server-Xvfb
 - cifs-utils
 - krb5-workstation
 - samba-winbind-clients
 - openldap-clients
 - net-snmp-utils
 - policycoreutils-devel
 - 日本語フォント(任意の Linux 用日本語フォント)
 - 本製品で利用可能なデータベース
- ※SUSE 11 の場合は unixODBC_23 を使用してください。

□ ESMC Web コンソール

- Java 8
 - Apache Tomcat 7 以上※
- ※Apache Tomcat と Java の bit 数は同じである必要があります。本製品をオールインワンインストーラーでインストールする場合は、64bit 版の Apache Tomcat がインストールされます。

□ RD Sensor (Windows 版)

- WinPcap 4.1.0 以上

□ MDC (Windows 版)

- Java 8

- Microsoft .NET Framework 3.5※および 4 以上
 - 本製品で利用可能なデータベース
- ※サーバーマネージャーの機能の追加よりインストールしてください。

□ MDC (Linux 版)

- openssl 1.0.1e-30 以上
 - mysql-connector-odbc 5.3.10※
 - 本製品で利用可能なデータベース
- ※SUSE 11 の場合は unixODBC_23 を使用してください。

■ 製品マニュアルについて

本製品のマニュアルは「ユーザーズサイト」よりダウンロードすることができます。

ユーザーズサイト

<https://canon-its.jp/product/eset/users/>

■ 使用上の注意事項について

本製品を使用する前に、以下の内容を確認してください。

□ 監査ログを生成するための権限について

本製品では監査ログを生成するためには、ユーザーに[サーバー設定]の書き込み権限が付与されている必要があります。

□ ESET Remote Administrator V6.3 以前から本製品にアップグレードした場合の権限設定について

本製品では静的グループに対するアクセス権の仕様が変更になったため、本製品にアップグレードした際に、[アクセス権]-[権限設定]の中の静的グループの値は引き継がずに[すべて]に設定されます。[すべて]以外の静的グループを設定している権限設定については、アップグレード後に静的グループを再設定してください。

なお、本製品で、静的グループに対する読み取りなどのアクセス権限を設定する場合は、機能権限の[グループコンピューター]で設定してください。

■ 既知の問題について

本製品には、以下の問題と制約があります。

これらの問題については、将来のリリースで修正される可能性があります。

最新の情報につきましては弊社製品ホームページの Q&A をご確認ください。

ESET 製品 Q&A ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/support/>

プログラムの変更点について

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/2293?site_domain=business

- ESMC Web コンソールのユーザーアカウント（ユーザー名、パスワード）に 2 バイト文字が登録できる現象について

ESMC Web コンソールのユーザーアカウントの設定画面で 2 バイト文字を使用したユーザー名、パスワードを登録できる現象を確認しています。ERA Web コンソールのログイン画面では 2 バイト文字の入力ができないため、ログインができません。

新しいユーザーアカウントを作成する際は 2 バイト文字を使用しないようご注意ください。

- コマンドの実行タスクで日本語を含むファイル名やフォルダ名を指定すると作成されるファイル名やファイル内容が文字化けする現象について

[コマンドの実行]タスクを作成した際に、[設定]の[実行するコマンドライン]や [作業ディレクトリ] に日本語のフォルダー名やファイル名が含まれている場合、タスクにて 2 バイト文字が含まれるファイルが作成されると、ファイル名や内容が文字化けすることを確認しています。

- 通知テンプレート「新しいバージョンの ESET Security Management Center が使用可能です」が機能しない現象について

通知テンプレート「新しいバージョンの ESET Security Management Center が使用可能です」のフィルタ条件が誤っているため、本製品の新しいバージョンが使用可能になった際に、本通知テンプレートが機能しないことを確認しています。

本通知テンプレートを使用する際は、フィルタ条件の[インストールされたソフトウェア.アプリケーション名]を[ESET Remote Administrator Server]から[ESET Security Management Center Server]に変更してください。

- [デバイスオーナーとしての個人登録]を行った Android デバイスが、[Android デバイス]動的グループに振り分けられない現象について

[デバイスオーナーとしての個人登録]を行った Android デバイスの OS タイプが [Android(Device Owner Mode)]になるため、[Android デバイス]動的グループに振り分けられないことを確認しています。

[Android デバイス]動的グループへの振り分けを行う場合は、[動的グループテンプレート]の[OS 識別(Google Android)]の式を以下のように変更してください。

OS エディション.OS タイプ [含む] Android

- オールインワンインストーラーでアンインストールを行うと、ESMC サーバーがアンインストールされない現象について

オールインワンインストーラーでアンインストールを行った場合、[アンインストール成功]と表示されるにも関わらず、ESMC サーバーがアンインストールされません。

アンインストールする場合は、コントロールパネルより手動でアンインストールを行ってください。

- クライアントタスクを使用した EM エージェントのアンインストールが CentOS 6 で正常に完了しない現象について

EM エージェントがインストールされている CentOS 6 に対して管理の停止タスクまたはソフトウェアアンインストールタスクを実行しても、EM エージェントのアンインストールが正常に完了しない現象を確認しています。

本現象が発生した場合は、以下のようにクライアント側で `uninstall.sh` を使用してアンインストールを行ってください。

/opt/eset/RemoteAdministrator/Agent/setup/uninstall.sh

- Mac OS 10.11 または 10.12 の環境で、証明書にパスワードが設定されていない場合に EM エージェント 7.0.448.0 のインストールができない現象について

Mac OS 10.11 または 10.12 の環境で、インストーラーを使用して EM エージェント 7.0.448.0 をインストールする際に、パスワードが設定されていない証明書を使用すると、以下のメッセージが表示されてインストールが続行できない現象を確認しています。

Could not verify password (invalid password or corrupted pkcs12 structure).

本現象が発生した場合は、エージェントライブインストーラーを使用してインストールを行ってください。

また、旧バージョンから EM エージェント 7.0.448.0 を上書きインストールする場合は、インストーラーの[Certificates]画面で[Keep currently used certificates]にチェックを入れることで本現象を回避することが可能です。

■ 製品情報

本製品に関する情報は、以下の URL から参照することができます。

ESET 製品ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/business/>

ユーザーズサイト：

<https://canon-its.jp/product/eset/users/>